

## 臨床談話会「診療所で基礎インスリンをうまく使う」

# 1回投与でここまでできる

二十人が参加した(六月二十九日・洲本市、3面に感想文)



淡路支部ニュース

2010.7.25  
No. 261

兵庫県保険医協会  
淡路支部  
〒659-0121 洲本市物部三丁目44  
松本医院内  
電話 0799-22-0041

## Let's...

最近の世(セ)情  
をサ行でまとめ  
てみました。

当初関心が低  
かった(サ)ッカ  
ーが第一戦勝利で急  
上昇。同様に消  
(シ)費税論争、そ

して(ス)角力賭で世情騒然の  
中での選(セ)挙の結果はご  
承知の通り。解決するのは菅  
(K)さん? 小沢(O)さんは  
亀井(K)氏という分子が入り、  
まさか温家宝(O)氏、OKに  
なるのかKOになるのか?  
検察(K)の動きは?

毎度申しますが、政治の悪  
い時は天気も悪い。各地での  
ゲリラ豪雨の一方、今頃ヒョ  
ウが降ったり、日本だけでな  
く中国、印度、南アフリカでも。  
アメリカでは海底油田! 世  
情に天が怒っているのかもしれ  
ません。かつての日本では  
五・一五や二・二六のテロが起

りました…。

そのような中で南関東はず  
でに梅雨明けしているとい  
か? 以前より南関東の気象  
的特異性というものがあり、  
ここを首都とした徳川家康と  
いう人物は? ただし関東大  
震災という大地震も…。

多分兵庫県もゲリラ豪雨と  
書かれているのは六年前の台  
風二十三号によるーわが家も  
水没した過去に対して、天の  
お目こぼしかも? いつも淡  
路島は東の紀州、西の四国山  
脈、北は六甲山系のおかげで、  
本来は台風の被害少なくてす  
んでいるのはありがたいと  
思っております。

その中で朗報と言えば、ア  
カツキの出發とハヤブサの帰  
還。イチローの十年連続オー  
ルスター出場そして三割打率。  
ちよっと早いですが、暑中  
お見舞い申し上げます。

【松本記】

「保険で良い歯科」請願

## 淡路市議会で採択

協会淡路支部が提出した「保険でより良い歯科医療」の実現を求める請願が、淡路市の六月議会で採択された。

請願者は支部幹事の栗田哲司先生。紹介議員は、池本道治氏、出雲容子氏ら十六議員。六月十五日付で「保険でよい歯科医療の実現を求める意見書」(下記)を国に送付した。

同請願は県内の過半数となる二十一市町で採択されており、洲本市、南あわじ市でもすでに採択されている。

### 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

歯や口腔の機能が全身の健康、介護・療養上の改善に大きな役割を果たすことが厚生労働省の厚生労働科学研究等で実証されている。

しかしながら、公的医療費の抑制により患者の自己負担が増大し、保険で歯科診療を受けにくくなっている。国民は患者負担を減らしてほしいと切望している。

また、実質的に医療内容を左右する診療報酬は低く抑えられ続けており、保険でより良く噛める入れ歯をつくることや、歯周病の治療・管理をきちんとすることが困難になっている。そのうえ歯科では過去30年にわたり新しい治療法が保険にほとんどとりいれられていない。金属床の入れ歯、セラミックを用いたメタルボンド、レーザー治療などは普通に行われている。「保険の適用範囲をひろげてほしい」、これは患者・国民のいちばんの願いである。

よって、国および政府におかれては、医療費の総枠を拡大し、患者負担を増加させることなく、保険で良い歯科医療を確保するため、下記項目について強く要望する。

#### 記

- 1、患者の窓口負担を軽減すること。
- 2、良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること。
- 3、安全で普及している歯科技術について保険が適用されるようにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月15日

衆議院議長	横路	孝弘殿
参議院議長	江田	五月殿
内閣総理大臣	菅	直人殿
財務大臣	野田	佳彦殿
厚生労働大臣	長妻	昭殿

兵庫県淡路市議会  
議長 松本英志

臨床談話会  
感想文

## “careからcureへ” 糖尿病治療の新潮流

淡路支部は六月十九日に洲本市内で、臨床談話会「診療所で基礎インスリンをうまく使う」一回投与でここまでできる」(講師は高槻赤十字病院・金子至寿佳先生)を開催し、二十人が参加した。座長の菱川先生の感想文を紹介する。

講演は糖尿病の病態の量的解説より始まり、糖尿病治療の基本となる食事・運動療法について概要を述べられた。両治療の指導を始めるにあたり、患者の日常

生活の習慣についての詳細な聞き取りが大切と述べられた。

食事習慣については、本人が知らず知らずのうちに糖質や脂質を過剰に摂取していることがあり、運動療法についてはそのタイミングの指導が低血糖や食後高血糖の予防に有効とされた。

次に、主題のインスリン治療の話題となった。インスリン導入に重要なことは、内服薬でのコントロールが不十分な際は、同治療を極量使用まで引き延ばすことなく早めにインスリンを開

始すべきとされた。

実際のインスリン注射の方法としては、持効型インスリンであるグラルギンを一回一回少量より開始し、空腹時血糖と食後血糖を参考にしながら徐々に増量していくことで、食後過血糖も含めた血糖コントロールが可能となり、さらにはインスリン注射から離脱することができた症例を数多く提示された。

糖尿病の治療が、従来のcareからcureを目指すという新潮流を、具体的に提示された意義深い内容であったと思う。金子先生の新しい糖尿病治療への熱意に、インスリン治療への高いハードルを下げてもらえたのではと考える。

【洲本市 菱川 留王】

### 投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠 まで



淡路支部は六月二十六日にサンライズ淡路で、大阪樟蔭女子大学短期大学部の松田幸子氏を講師に、職員接遇研修会を開催した。参加者からのアンケート結果(抜粋)を紹介する。

## 職員接遇研修会 アンケートより

### 参加して印象に残ったことなど

- ・事例が具体的でわかりやすかったです。日頃から気をつけていることも改めて確認できました。
- ・クレームはうまく対応すればプラスになっていくということ、表現するということはいろんな面で必要だということがわかった。人間関係もうまいくと思う。

- ・患者さんのご意見があった時など想像してどんなことをしたらよかったなど、参考になりました。

- ・クレームを受けるとお詫びと傾聴することが一番大切だとわかりました。

- ・表現力を身につけて、きちんと誠意ある対応をしようと思えました。

- ・「表現」の大切さ。私はまだ表現不足だと思うので、これを機に、表現を頑張りたいと思います。

- ・ロールプレイングをしてみても、自分の感情を相手に伝えることの難しさがわかりました。表現することの大切さがわかりました。

- ・今できる最高のプラスの表現。

- ・適切な対応を行うことによつて信頼感ができること。

- ・クレームがあつた時は、まずは誤る(心をこめて)ということ、怒りがずいぶんお

さまるといふことがよくわかりました。言い訳の前に、まずは“謝る”ことを心がけたいと思えました。

- ・これからの患者様に対する対応にいかしていきたいです。

### 患者との対応で苦労や工夫している点、

#### 感じていふことなど

- ・お年寄りの患者様が多いので、敬語の使い方迷うことがあります。あまり丁寧すぎると余計に距離が広がるように思います。
- ・名前をきちんと呼ぶように心がけている。
- ・体の不自由な方への対応に気遣いはどこまで必要か。
- ・忙しくてバタバタしているのに「順番まだ？」と聞かれます。
- ・やはり待ち時間が長いというところでクレームを言ってくる人は多いです。

- ・待ち時間の長さでクレームを受けることが多いので、いかしていったらと思います。
- ・待ち時間が長い、当たり前と思つていた考えをあらためます。
- ・患者さんの話を聞くときは必ず相槌を打つ、目線を合わせます。

- ・まだ技術面でできることが限られているので、患者さんに対して、できるだけ笑顔で対応するように心がけています。

- ・耳が聞こえにくい患者様と会話するのが少し難しく感じます。
- ・お年寄りの患者様が多いので、はっきりと伝えられるようにしている。電話では、何度も復唱することを心がけている。必ずメモをとる。
- ・決まった患者さんが来るので、ニュースなど話題になることは知っておくようにしている。